

区内病院・
歯科医

救急医療の功労に評価

神奈川県が表彰

県における救急医療の発展に努め、特に功労のあった個人と団体を表彰する「2018年度神奈川県救急医療功労者表彰」の受賞者が決まり、(医) 横浜柏堤会戸塚共立第2病院(吉田町)と、八巻歯科医院(下倉田町)の山口里恵院長が選ばれた。

この表彰は県の救急医療の発展や、重要性の周知などを目的として毎年行われている。今年度は県内から2病院、7個人が受賞した。

「率先して動く」意識

戸塚共立第2病院は、長年にわたり救急車の受け入れや、地域の二次救急医療(入院が必要なケガや病気を対象とした救急医療)に貢献したことが選定理由となった。



戸塚共立第2病院の饗場院長(右)と木村事務長

年間で2000件ほどの救急対応があるという同院。饗場正宏院長は「常に救急が来るかもしれないという意識で率先して動くという思いが、スタッフ皆にある」と話す。現在懸念しているのは、高齢化に伴い今後救急患者が増加すること。「ますますニーズが増えると思うが、近隣地区も含めた地域医療に貢献するという意識の中で、救急患者を積極的に受け入れていきたい」と話す。